

ビジネスの種



地域材の利用拡大に関する建築物木材利用促進協定を締結

(TDB企業コード：983729318)

ウイング

<http://www.wing2x4.co.jp/index.html>

建築資材の製造、加工販売及び輸出入を手がけるウイング（株）（東京都千代田区神田神保町3-2-3、九州支店：福岡県糟屋郡新宮町の野香ノ木740-4、代表 倉田俊行氏）。同社を含めた4者と北九州市は、2022年12月26日に地域材の利用拡大に関する建築物木材利用促進協定の締結を行った。協定期間は5年で、国産材5,980m³、地域材1,000m³（北九州市材）を使う具体的な数字となっている。同市では木材生産をはじめとした森林の活用が十分に進んでいない状況を背景に、①北九州地域産木材の地産地消の仕組みづくり、②木材の地産地消による林業・木材産業の活性化、③地域森林資源の循環利用によるカーボンニュートラルの実現、④北九州地域産木材のトレーサビリティと炭素貯蔵量の見える化の4つを目的として、森林の循環利用と地域材の積極的活用に取り組むとしている。ウイング（株）は、認証材（JAS、クリーンウッド法）の提供や炭素固定量の提示、NONJAS加工材の開発、提案のほか、国産材の開発提案及び無垢材活用の会コラボレーション（情報提供）など、国産材のサプライチェーン構築における木材の安定調達部分を担う。

北九州市が「2050年のゼロカーボンシティ」の実現を目指し、カーボンニュートラルにつながる施策を進めるなか、木促法改正後に自治体と事業者が木材の地産地消を目的とした協定を締結するのは福岡県内で初の事例となる。



協定式の様子